OCT
Real Project
vol－Ⅷ

2009

2008　今昔館展示模型

2007 西武庫団地リフォーム

2006　N氏の山荘建設

2004 琵琶湖別荘建設

2003　香住古民家移築

2002　大飯古民家移築

2000 朽木研修所離れ

美 杉 山 荘
建 設 プ ロ ジ ェ ク ト

Project　Report
NO-15
2009.09.29

墨付け･キザミ　（桁･梁）

土台、柱に続き、桁と梁の墨付け･キザミに入ります。柱の上部を固定する桁と、桁に架かる梁とは、木造軸組みの上部のフレーム材として、また、屋根を支える部分として大変重要な部材です。木材の接続部である継ぎ手や仕口についても、最も高度な技が求められる部分です。今回は丸太材を使用しますので、益々加工の難易度は高くなります。大工技能学科では、一年次に丸太を使った梁の加工を実習に取り入れており、その理解度や技術の程が大いに試される場面ですが、技能2年生の長生君を中心に学生達のみでこの難関に立ち向かいました。

梁はタイコ挽きされた厚さ 120 の杉の盤です。高さの基準の墨を頼りに、桁や柱との取り合い部分が慎重に検討され墨が付けられます。部材を見つめて沈黙する瞬間、頭はフルに回転しているのでしょう。

丸太の桁とタイコ挽きの梁は、渡り顎という仕口で納めます。隙間なく正確に噛み合いました。

桁と梁は加工後、仮組みを行い細部の確認をしました。その後ボルト穴や表面のカンナ仕上げが施され、最難関部をクリアしました。

このPDFはpdfFactory試用版で作成されました www.nsd.co.jp/share/pdffact